



～ 地域で生きる人になる～

いずよう魅力化協議会だより

No1 令和5年7月13日 島根県立出雲養護学校

6月19日（月）に、令和5年度第1回魅力化協議会を開催しました。本年度第1回目ということで、自己紹介、グランドデザイン、学校経営プラン、学校評価の説明を行った後、グループに分かれての協議を行いました。今年も13名の個性的な委員様にご協力いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度の委員の皆様のご紹介

本年度の出雲養護学校の重点目標は、「オンリーワンを見つけよう～探究的な学びをとおして地域とつながろう～」です。そこで、委員様のオンリーワンも教えていただきました！

赤木 亮一	神西コミュニティセンター長	平日：コミセンで勤務 日曜：神西湖でシジミ漁
稲根 克也	出雲市観光協会事務局長	俳句でしょうか
宇谷 留美	元PTA会長	継続力
片岡 久	さざなみ学園長	自分自身
神田 陽二	三刀屋文化体育館アスパル館長	野球観戦（息子の）
川上 雅文	荒茅保育園長	剣道7段
金築 希	PTA会長	ファッション（家族・友人調べ）
武部 豪	石見銀山世界遺産センター	自分
西村 健一	島根県立大学教授	柔道
堀西 雅亮	島根県外国人サポーター	今日一日
松下 怜司	麺屋松代表	繋がる音楽
森山 和子	OfficeSou 代表	パートナー
山根 浩	神戸川やまびこ代表	音づくり

グループワーク

テーマ

「いずようグランドデザイン実現のためにやったらおもしろそうなこと」

上記のテーマについて、委員の皆様、学校教職員が3グループに分かれ、グランドデザインに付箋を貼りながら、協議をしました。どのグループも、「しじみとりと太鼓を組み合わせたイベントをしよう」「観光マップをつくってはどうか」「学園を支店とした販売活動はどうか」等、たくさんのアイデアが出ました。それぞれのグループで出た意見を裏面に紹介しています。この話し合いを、日々の教育活動にどのように繋げていくかが、学校のミッションです！

CHALLENGE

TRY & ERROR

閉会行事の中で西村会長が、次のようにお話をされました。

「チャレンジしてください。探究的な学びは、トライ&エラーです。先生達も、ぜひ、やってみてください。」

「地域で生きる人になる」児童生徒を目指し、チャレンジをしていくことの大切さを改めて感じています。取組の中では、困ったこと、難しいことも出てくるかもしれません。13名の委員の皆様と共に解決し、また次に進む1年間にしていきたいと思います。

グループワーク 「いずようランドデザイン実現のためにやったらおもしろそうなこと」

出雲養護学校のランドデザイン実現に向けて、委員さんと教員が3グループに分かれて「やったらおもしろそうなこと」を付箋に記入する形で出しました。設定していた時間では足りないくらいたくさんのおもしろそうなことが出てきました。その一部を紹介します。

〈保育園〉

- 遊び、読み聞かせなど
- おもちゃのプレゼント
- 園児の学校見学、体験

〈さざなみ学園〉

- スタッフ間の交流、見学
- 学園を支店として販売活動

〈神西湖〉

- しじみ漁体験
 - イベント
- (太鼓、しじみ汁、魚)

- 出雲大社とのコラボ
- 石見銀山とのコラボ

- 様々な活動の発表を地域で
- 卒業生の卒業後の体験発表



- カラオケ大会
- 余芸大会
- のど自慢参加

- いずよう
- スナック
- うたごえ
- 喫茶



〈イベント〉

- 学校を会場に多文化に出会うイベント
- 地域の「変わったところ」を見つけ
- 学校見学ツアー
- 地域の郷土料理作り



〈中学部〉

- アジサイ花壇を名所に
- 太鼓の取組を地域へ
- 販売会へ地域の方を招待

- 生徒による観光地案内
- マップ作り
- 職業体験

〈外部人材〉

- ゲストティーチャーズの活用 (ダンスなど)
- 地域人材のリスト化と活用

石見銀山世界遺産センターの見学、体験活動

- 近隣の企業や民家へのボランティア清掃
- 「やさしい日本語」による文書のフォーマット作り

〈高校〉

- 小学部との交流 (遊具作り)
- 高等部との交流 (合同作業)

次回は11月9日(木)に開催する予定です。